

高村民藏 タカムラタモシ 劇作家。明治二十一年七月二十一日東京生れ、昭和  
四十五年十一月十五日歿（八六—九七〇）。號柳水、甲島。明治四十一年  
在箱田大學文學部英文科卒、次々東京帝國大學文科大學獨文科入學  
と病を獲て中絶。大正二年投稿誌『大正文學』主宰、六年早大講師、  
昭和二年日本大學講師、戰後靜岡女子短期大學教授。

譯著書、ストリンズドベルク作『伯爵令嬢』（譯、大正二年七月一日現  
代社「近代脚本叢書」）、『近代文學の現はれたる兩性問題』（大正八年九月十  
日大信社）、ハヤゲマン著『近代演劇の理論と實際』（譯著、大正九  
年十一月二十日女子文社）、『戯曲集 夜叉丸』（大正十年九月十日松岡  
堂書店）、ウエスマーター著『人間結婚史』（譯、大正十年九月十  
八日大信社）、『演劇學會戯曲集』（編、第一輯、大正十年十一月一  
十日、第二輯、十一年十一月二十日松岡堂書店「演劇學會叢書」）、  
『清十郎』（大正十一年二月二十日松岡堂書店「戯曲叢書」）、イブ  
セン作『皇帝とガラリヤ人』（譯、大正十二年六月二十日東京堂書店  
「世界名著叢書」）、『子供の生活と藝術』（大正十二年二月十日

高陽社）、『劇の創作と鑑賞』（大  
正十二年五月十七日新詩壇社）、『藝  
術學汎論』（昭和七年六月五日二審  
堂）、ウエスマーター著『戯曲の技  
巧』全二冊（譯、上卷・昭和二十  
四年五月十日、下卷・二十日岩波書店  
「岩波文庫」）等。

